

第55回

## SCCJセミナー

屋外での活動を支援する紫外線対策技術  
～知っておきたい サンスクリーン製剤の現在～

午前の部

午後の部

10:00  
～  
10:05**開会の挨拶** セミナー委員長 植田 光一**有機系紫外線吸収剤の開発の歴史、  
およびその効果的利用**

BASFジャパン株式会社 分部 孝範氏

10:05  
～  
10:50

サンスクリーン剤に使用される紫外線吸収剤は性能、効果、安全性、各国における規制への対応など幅広いニーズを満たすことが求められている。本講演では、効果的な紫外線防御を実現するために考慮すべき、光安定性、光老化防止、水相防御の重要性について、主に有機系紫外線吸収剤の開発の歴史を振り返りながら解説する。また、吸収・反射・多重散乱のトリプルアクション防御を可能にする有機微粒子紫外線吸収剤(水分散液)について詳しく紹介する。

**無機系紫外線散乱剤の特徴と最新動向**

テイカ株式会社 江尻 和正氏

10:50  
～  
11:35

サンスクリーンに使用される無機系紫外線防御剤は、その特性から「紫外線散乱剤」と呼称され、有機系材料と併用または使い分ける形で広く使用されてきた。その中で、2019年2月に、米国FDAが紫外線防御剤に関する新たな規則案を発行した。それによれば、無機系材料である酸化チタンと酸化亜鉛が効果と安全性に優れた材料であることが示された。今回、酸化チタンと酸化亜鉛に関する材料特性と最新の素材開発、さらには無機系を中心に海外の規制動向について紹介する。

11:35  
～  
13:00**昼食休憩**

■日時 2020年2月21日(金)  
10:00～17:55(受付開始:9:30予定)

■会場 京都テルサ(京都市民総合交流プラザ)  
[http://www.kyoto-terrsa.or.jp/lib/pdf/download/d\\_52.pdf](http://www.kyoto-terrsa.or.jp/lib/pdf/download/d_52.pdf)

セミナー: 西館テルサホール  
フリーディスカッション: 東館2階セミナー室他

■主催 日本化粧品技術者会  
TEL 045-222-1608

■参加費 会員:13,000円/一般:19,000円  
当日受付(会員・一般共に)19,000円

■申込期間 2019年12月20日(金)～  
2020年2月6日(木)23時59分(締切厳守)  
[Web参加申し込み]

詳細 ⇒ <https://www.sccj-ifsc.com>

13:00  
～  
13:45**紫外線防御化粧品のin vivo・in vitro 評価方法**

三洋貿易株式会社 佐藤 珠紀氏

近年、サンスクリーン剤をはじめとする紫外線防御化粧品の性能は日々向上し、併せてその評価方法も改善・開発されてきた。現在の評価方法は、被験者の皮膚に紫外線を照射して黒化反応を見るin vivo試験と、サンスクリーン剤等を塗布したプレートやシートの分光透過率を計測し、その値から数値を算出するin vitro試験が並立している。更にin vitro試験にはいくつかのガイドラインが存在している。本講演では以上を踏まえ、in vivo・in vitro 両試験の概要や国際的な流れを説明するとともに、試験に使われる機器を紹介する。

13:45  
～  
14:30**塗膜均一性と耐擦れ性に優れた  
サンスクリーン製剤化技術**

花王株式会社 福井 崇氏

紫外線に対する消費者意識の高まりにより、サンスクリーンの使用頻度が増えてきており、「心地よい使用感」と「高い紫外線防御効果」の両立はますます重要になってきている。更に実生活においては、耐水性や耐擦れ性といった持続性能も重要である。本講演では、サンスクリーン製剤の塗膜評価方法とO/Wサンスクリーン製剤における肌上でのUV塗膜の均一化技術と耐擦れ性に優れた製剤化技術を紹介する。

14:30  
～  
14:45**休憩**14:45  
～  
15:30**高SPF/PAと耐水性を両立させた  
サンスクリーン製剤の開発**

ポーラ化成工業株式会社 中谷 明弘氏

近年の紫外線防御に対する意識の高まりから、多くの人が様々なシーンで日焼け止めを使用するようになった。しかし、レジャーやスポーツのシーンでは汗、水で流れ落ち、期待していた効果が得られない場合がある。そのため、日焼け止めの製剤開発では紫外線カット効果を高めるだけでなく、その効果を持続させるための耐水性技術が重要である。本講演では、一般的なサンスクリーンの製剤特徴と高SPF/PAと耐水性を両立させた技術開発について紹介する。

15:30  
～  
16:30**トップアスリートのスキンケアサポート  
～オリンピックを支えている皮膚科医の話～**

国立スポーツ科学センター スポーツクリニック 上田 由紀子 先生

2001年以来、多くの種目の選手たちの皮膚疾患の診断と治療、予防とスキンケアを担当してきた。スポーツ環境では皮膚への負担は大きく、パフォーマンス向上のために正しいスキンケアの知識が求められている。紫外線対策は戸外スポーツでは選手の健康管理の一つとして非常に重要である。オリンピックの実情を紹介し、今後もアスリートをサポートするスキンケアのアイデアをほしいと願う。

16:40  
～  
17:50**フリーディスカッション**

&lt;講演スライドの閲覧および各講師との個別質問コーナー&gt;

17:50  
～  
17:55**閉会の挨拶** セミナー副委員長 山原 年